

知ったこと・感じたことを自由に書いてみましょう

知る・見る・感じるカムイの世界

上川アイヌとこころ揺らす旅

# 旅のしおり



[制作]大雪山麓上川アイヌ日本遺産推進協議会

[認定自治体]上川町・旭川市・富良野市・愛別町・上士幌町・上富良野町・鹿追町・士幌町・新得町・当麻町・東川町・比布町

日本遺産

カムイと共に生きる上川アイヌ～大雪山のふところに伝承される神々の世界～



# さあ、心を揺らす旅へ

太陽の色は赤とは限らない。虹は7色とは限らない。



犬や鶏の鳴き声だって、国や文化によって聞こえ方は様々—

私たちが見ている世界はどうやらひとつとは限らないようです。

遥かな昔からこの地で暮らしを営んできた上川アイヌの世界に触れて

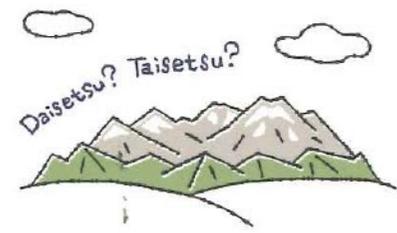
あなたは何を感じますか？



## 大雪山の不思議



北海道の屋根と呼ばれる大雪山ですが、実は大雪山という名前の山は存在しないことに気づいてましたか？「大雪」の読み方さえも、時に「だいせつ」だったり「たいせつ」だったりバラバラ。本当の呼び名は一体どちらなのでしょう？そんなミステリアスなところも大雪山の魅力なのかもしれません。



## カムイって？



ゆらめく炎をじっと見ているうちに火にも魂があるんじゃないかと思えてきたり…そんな経験はありませんか？もしも身のまわりのありとあらゆるものに魂が宿っているとしたら??そう考えてみると、いつもと同じ世界が全く違う景色に見えるのかも!?



キムンカムイ  
《山に住む神》  
肉や毛皮を与えてくれる  
大切なカムイ



アベフチカムイ  
《火の神》  
人間を見守ってくれる  
カムイ



Let's go on a trip!

# 知らなかった自分を探しに。 今日の続きじゃない明日に会いに。

Travel Map

## 1 神居古潭

壮大な  
ストーリーを生んだ  
唯一無二の  
地形を迎える



この地の険しい景観の中に神々の姿を見出した上川アイヌは、彼らを滅ぼそうとする魔神ニツネカムイが、英雄神サマイエクルの刀で成敗され岩になったという伝説を残しています。「魔神の頭」「魔神の胴体」と呼ばれる巨岩や「魔神の足跡」とされるおう穴群を辿りながら物語の世界を追体験してみましょう。

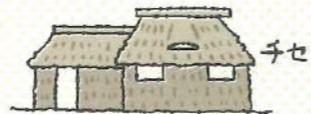
日本最古のアイヌ資料館で  
踊りと遊びを学び、楽しむ

## 3 川村カ子トアイヌ記念館

ここは過去と現在、未来がつながる場所。アイヌ文化を伝承し続ける記念館に展示されている生活用品などの貴重な資料の数々は必見モノです。副館長の川村久恵さんからアイヌの伝統的な踊りと遊びを学べる貴重な機会に思わずタイムスリップしたかのような錯覚を覚えてしまうかも!?

### いのちの循環で巡り巡る世界

ヒグマのカムイは天界では人間の姿をしていて、人間界に降りてくるときに、クマの毛皮を被ってクマの姿で現れます。その肉や毛皮は人間への贈り物として大切に扱われ、受け取った人間はクマの魂を天界へ送り返す儀式を盛大に行います。そうして送られたカムイは天界で幸せに暮らした後、再び人間界へやってきます。伝統的なアイヌの世界観には、人間の都合で一方的に命を奪うのではなく、命の恵みを大切に受け継ぎ感謝と共に生きる知恵が息づいています。



## 2 嵐山 ~チノシリ~

神々と人間を結ぶ  
パワースポットで  
アイヌの暮らしに触れる

人間に贈り物を届けてくれた動物の魂や、長年使った道具に宿る靈魂を天に送り返す儀式が行われてきた上川アイヌの聖地・嵐山。笹葺きの伝統的な家「チセ」で、祈りとともにある暮らしと営みに想いを馳せつつ、旭川龍谷高校郷土部の皆さんと一緒にアイヌの精神文化を学んでいきます。

旭川市博物館

川村カ子トアイヌ記念館

Start & Goal!

自然の恵みへの感謝とともに母のぬくもりを味わう

## 4 層雲峡オートキャンプ場

「生きることは食べること」「食べることは生きること」。アイヌの人々がこの北の大地で生きていくために大切に育んできた食の知恵に学び、感謝とともに味わう心を学びます。大雪山を間近に感じながらアイヌ料理の達人、伊澤フサ子さんによる母の味で身体芯まで温まりましょう。



自然の不思議さに目を見張る  
「センス・オブ・ワンダー」の  
感覚を磨く

## 6 旭山動物園

動物たちのありのままの生活や行動、しぐさの中に「凄さ、美しさ、尊さ」を見出すこと。そこから命のかけがえのなさを知ること。私たちが学ぶことはまだまだたくさんあるようです。アイヌ民族にとって位の高いカムイとされる「ヒグマ」や「シマフクロウ」にも会えるこの場所であなたなら何を感じますか?



Mt. Kurodake



## 5 黒岳

神々の視線をなぞる、  
空中散歩に出かけよう

神々の国に最も近い場所と考えられていた大雪山の一角、黒岳は日本一早い紅葉でも知られるように、私たち人間が住む世界とは違う時間が流れているようです。ロープウェイやリフトから眺める景色はまるで別世界!? 写真や動画では観られない、あなただけの小さな絶景をその目で見つけてみませんか?

柱状節理



層雲峡  
オートキャンプ場



ニセコウシュベ山

4

ノーザンロッジ・  
山麓駅

5

黒岳



10/12(土)

1日 60分

神居古潭の激流



伝統的なアイヌの人たちの住居「チセ」



大雪山麓の雄大な自然の中にあるキャンプ場



ホテル・ノーザンロッジにご宿泊



9:00

JR旭川駅

Start!



9:40

神居古潭・立岩・チカブニ

立岩は車窓から見学♪

11:00

嵐山公園

12:35

川村カ子トアイヌ記念館

昼食・文化体験

16:55

層雲峡オートキャンプ場

アイヌ食体験

18:05

ホテル・ノーザンロッジ

おやすみなさい...

### 川のみかた

川はどこまで続いているんだろう?ふと気になって辿ってみる— そんな小さな旅にももしかすると素敵な発見があるかもしれません。はるか昔の時代から、海辺で暮らす人々と、山で暮らす人々の生活はつながっていて、海の恵みを山へ運んだり、山の恵みを海辺へ運んだり、川は人や物をつなげる大切な役割を果たしてきました。改めて川と人間の暮らしの関わりについて考えてみると、川の見方がこれまでと少し変わって来るかも!



身近な川を観察してみよう!



記念館の外観はアイヌの彫刻家故砂澤ヒッキによるもの

### こゝとよに学ぶ

アイヌ語の「こんにちは(イランカラブテ)」には「あなたの心にそっとふれさせていただきます。」という温かい思いが込められているとも言われます。また、アイヌ語の「考える(ヤイコシラムスエ)」には「自分に対して自分の心を揺らす」という意味があります。頭だけでなく“心”を大切にしてきた言葉の世界は、私たちが日常生活の中で忘れてしまっている大切な何かを思い出させてくれます。新しい言葉との出会いは、ある意味新しい自分との出会いなのかもしれません。

### 川は山を遡る生き物!?

単に水の流れとして見るのではなく、川全体をひとつの生命体として眺めてみる— かつてのアイヌの人々には、そんな豊かな視点がありました(母なる大地と呼ぶときの感覚と少し似ていますね)。川辺で暮らしていた人たちにとっては、山に住む人たちへ物を運んだり、秋には鮭が遡上したりと、川は遡るものという見方がむしろ自然だったのかもしれませんが。

### 文字のない世界!?

文字を必要としなかったかつてのアイヌの人々は、私たちがのように文字に頼ることなく、生きていくために必要な知恵を口伝で受け継いで来ました。音とリズムと感覚で、心と頭と体に深く刻み込まれた伝承は、人間が生き延びていくうえで本当に大事なことを、言葉をこえて訴えてくるようにも感じられます。



「おいしい」って何だろう?



オハウ



シト(団子)



### 食を考える

おいしいって何でしょう?食べなれた味?しっかりと味つけされた料理?それとも豪華で贅沢な食事でしょうか?そんな思い込みから一度離れて、素材そのもののうまみをシンプルに味わってみれば、きっと新たな発見があるはず。お腹を満たすために食べるのではなく、自然がくださった命の恵みに感謝して食べる—「おいしい」とは本来そういうことなのかもしれません。舌だけではなく心で味わうことを意識してみることで、毎日の暮らしがより豊かになると思うのです。



旅先で写真を撮ってばかりで、しっかりと目に焼きつけることをしなくなった私です。時には便利さから離れて、身体と五感で地球と向き合う感覚を思い出してみたいものです。

10/13日

2日目

Good Morning!

8:30

ホテル・ノーザンロッジ

山麓駅



黒岳7合目 カムイの森のみち



### カムイミントラとは?

雄大な自然が広がる大雪山をアイヌの人々はカムイミントラ(神々の遊ぶ庭)と呼んできました。一方で、カムイミントラの意味には「ヒグマがよくでるところ」という説もあって、道内の何ヶ所かにも同じアイヌ語地名が残されているのだそうです。神秘的でロマン溢れるネーミングと、ヒグマの危険を知らせる実用的な解釈のどちらが正しいのか?もしかするとその両方の意味が込められていたのかもしれませんが。そこには山に対する敬意と畏怖の念を確かに感じ取ることができます。あなたは何を感じますか?



### シマフクロウのはなし

シマフクロウは英語でfish owlと呼ばれるように川に住む魚を主食として生きていて、川の傍で暮らしてきた人間にとって身近な存在であり、アイヌ語ではコタンコロカムイ(村を守る神)と呼ばれてきました。かつては北海道じゅうにいたこのシマフクロウも住める場所が減ってしまい、今では絶滅の危機に面しています。北海道と言えば大自然というイメージがあるかもしれませんが、実は、本当の自然が残されているところはほんの僅かとなってしまっているのです。



アイヌと関わりの深い動物たちに会える旭山動物園

コタンコロカムイ (村を守る神)



### これからを考える

生活様式や自然環境の変化によりアイヌ文化の伝承は年々難しくなっています。一方で、アイヌという、昔の知恵や文化についてばかり関心がもたれることが多く、近現代や現状に目を向けられることはまだ少ないようです。アイヌ文化へのリスペクトとともに暮らしていくこと。そして、これからの時代に向けて一緒に出来ることを考え実践することが、新しい世の中への扉を開く鍵となることでしょう。大雪山のふところに広がるこの地には、もうその足音が聞こえてきているようです。

Respect



各自昼食

12:30

山麓駅

旭川市旭山動物園

### 名前のはなし

同じ苗字や名前の方がいて取り違えてしまったといった経験はありませんか?恩恵や災いが、郵便や宅配便のように名前をたよりに届けられると考えるアイヌの世界観では、悪いカムイが同名の人と間違えて災いを送ってきたりしないよう、同じ名前はつけないという考え方が主流でした。また、子どもが生まれてすぐには名前をつけず、ある程度成長してから、その性格や能力に相応しい名前をつけるのが常識でした。名前のつけ方ひとつとっても、文化によって考え方や風習が大きく異なることがあるのです。



### 日本語になったアイヌの言葉

私たちが何気なく使っているコンプやシヤモ、ラッコ、トナカイなどの言葉はアイヌ語に由来していると言われてます。また、ファッション誌「non-no」も実はアイヌ語。花のように美しくあってほしいと「ノノ(花)」にちなんで名づけられたのだそうです。あなたはいくつ知っていましたか?

15:00



旭川市博物館



様々な衣装や道具が展示されています

### 地名のはなし

北海道の紋別、士別、江別といった地名の「別」はアイヌ語の「ベツ(川)」から来ており、稚内、幌加内、歌志内などの「内」は「ナイ(沢)」から来ています。また、旭川の近くにある春志内という地名はアイヌ語のハルシナイ(食料が多くある沢)が元となっていて、食料となるウバユリやギョウジャニンニクなどの山菜が多く採れた場所を指しているのだそうです。見慣れた地名の背景にも、地形の成り立ちやそこで暮らしてきた人々の生活の知恵など奥の深い世界が広がっているかも!



Finish!

16:05

JR旭川駅

# 歌っておぼえるアイヌのことば

# ～からだのうた(しずかなこはん)～

1  サパ(ハ) エトゥ(フ) シキ(ヒ) パロ(ホ)  
 sapa(ha) etu(hu) shiki(hi) paro(ho)  
 頭あたま 鼻はな 目め 口くち



 キサラ(ハ) ナヌ(フ)  
 kisara(ha) nanu(hu)  
 耳みみ 顔かお



 オトピ(ヒ) レクチ(ヒ)  
 otopi(hi) rekuci(hi)  
 髪かみ 首くび



 テケ(ヘ) ホニ(ヒ)  
 teke(he) honi(hi)  
 手て 腹はら



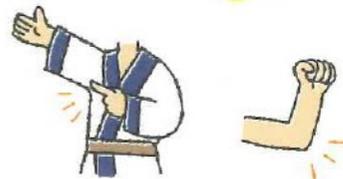
 コッカサパ(ハ) パラウレ(ヘ)  
 kokkasapa(ha) paraure(he)  
 ひざ 足あし



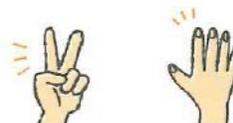
 チキリ(ヒ) オソロ(ホ)  
 cikiri(hi) osoro(ho)  
 脚あし しろ



2  ヤトウイポキ(ヒ) シットキ(ヒ)  
 yatuypoki(hi) sittoki(hi)  
 脇わき 肘ひじ



 アッケペチ(ヒ) アミ(ヒ)  
 askepeci(hi) ami(hi)  
 指ゆび 爪つめ



 テッコトロ(ホ) レラル(フ)  
 tekkotoro(ho) reraru(hu)  
 掌てのひら 胸むね



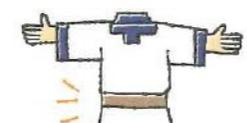
 パルンペ(ヘ) ニマキ(ヒ)  
 parunpe(he) nimaki(hi)  
 舌した 歯は



 ラル(フ) ハンコ(ホ)  
 raru(hu) hanko(ho)  
 肩まゆ 臍へそ



 イッケウエ(ヘ) セトウル(フ)  
 ikkewe(he) seturu(hu)  
 腰こし 背中せなか



「<sup>しず</sup>かな<sup>こ</sup>湖畔」のふしにあわせて、  
 からだの各部の呼び方を覚える歌  
 です。指差したり、動かしたりしな  
 がら覚えましょう。  
 下線を引いた単語は( )の中まで  
 歌います。

【作成:北原次郎太】